

パブリックコメント実施結果

- 1 案 件 名 富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想の改定について
- 2 実 施 期 間 令和6年12月2日（月）～令和7年1月6日（月）
- 3 意 見 書 件 数 1 件（電子メールによる）
- 4 意 見 反 映 件 数 1 件
- 5 意 見 対 する 回 答 別紙のとおり

【提出された意見】

- ① 来訪者の受け入れを推進する以前に福祉、防災、医療など住民生活の基盤強化を総合して検討する必要がある。
- ② おもてなしの実現には、地域文化、地域資源、地域住民等を尊重したまちづくりを進める必要がある。
- ③ 構想策定エリアが局所的であり、市内全域に対する方針が希薄である。
- ④ 人為的な空間整備を行うのではなく、これまで培ってきた文化や資源に基づく今の姿を尊重すべきである。
- ⑤ 文言の重複、表現方法の見直し検討
- ⑥ 構想推進体制に対する提案

【意見に対する市の考え】

意見①、②、⑥に対して、一括して回答します。

多面的に施策の検証を行うため、現存の検討会議である「富士宮市世界遺産富士山のまち推進会議」を主として、広く意見を聴取して改定を進めます。本会議内で課題の解消が困難な場合は、適宜、アドバイザー、関連機関、市役所所管部局等と連携し、調整を図るよう努めます。なお、本構想の改定は令和7年3月を予定しているものの、改定以降についても常時、評価・見直しを行うことから、長期的な課題についても継続して検証を進めるよう努めます。

意見③について回答します。

本構想は、拠点とすべき一定区域を「中心市街地」と定義した上で、同区域を中心とした今後のまちづくりの指標を示したものです。市内全域を対象とした方針等については、本構想2ページに示すとおり「富士宮市総合計画」や「富士山世界文化遺産富士宮市行動計画」等が上位計画として位置づけられます。また、文化財関連計画等との関連性も重要であると捉えています。本構想の改定に当たっては、これらの整合性を図りながら進めるよう留意します。

意見④について回答します。

本構想に掲げる整備内容は、現行構想を再検証し、人為的な要素を緩和したイメージを示しております。ただし、現段階ではあくまで構想イメージとなりますので、今後、様々な意見を尊重し、検討を重ねながら事業計画化を段階的に進めていきます。

意見⑤について回答します。

文章中の文言重複、表現方法については、即時見直しを行い、一部修正を行います。